

# ひだまり学級 学級活動指導案

指導者 今松 薫

児童 第2学年2名 第4学年2名 計4名

場所 ひだまり学級

- 1 議題名 「ひだまりフェスティバルをしよう」  
学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

## 2 活動を意図した背景

### (1)児童の実態

本学級は、2年生と4年生の異学年の児童が4名在籍している。昨年度より在籍児童は変わらず、全員仲良く学校生活を送っている。これまで、友達の誕生会では、学級の友達と意見を出し合い、教師とともに活動の内容を計画してきた。

しかし、話し合いにおいては自分の気持ちを優先する姿も見られ、友達の意見と合わせて考えたり、まとめたりしながら話し合うことが課題となっている。また、交流学級での学習も行っているが、特定の友達と関わりがちで人間関係に広がりやもちにくいことも課題である。

### (2)教師の思い・願い

本題材は、ひだまり学級の友達と協力し、「ひだまりフェスティバルをしよう」の活動を通して、話し合いの仕方やよりよい人間関係の形成や合意形成、意思決定の方法、チームワークの重要性、集団活動における役割分担の方法などについて知り実践できるようにすることを目的として設定した。

本時の学習活動は、生活単元学習と組み合わせ、学級活動で培った力を生活単元学習に生かすという流れで進めていく。学級活動では、「学校の友達ともっと仲良くなりたい」という問題の発見から、どのような活動だと学級以外の友達とも関わることができるのかを考えたり、話し合ったりすることにより、学級の諸問題を解決しながら、よりよい学校生活にしていこうとする態度につながる。また、「ひだまりフェスティバル」の内容にゲームを取り入れることで、学級の児童同士のコミュニケーションが深まるだけでなく、学校の友達との関わりという人間関係の広がりにもつながっていくものである。話し合いの中で、自分の意見や考えだけを押し通そうとする態度ではなく、友達と協力して物事を解決し、周囲の人との人間関係を築く態度の基礎を身に付けることを大切にしたい。そして、様々な集団活動や体験的な活動をしながら、協力したり助け合ったりして学校生活を楽しくすることができるようにするとともに、進んで日常の生活や学習に取り組むことができる喜びを味わうことができるようにする。また、互いの意見や考えを尊重し合いながら協力して計画を立て、実践できるように指導していく。互いの良さに気づき、協力してよりよい人間関係を築くとともに、自分たちの力でよりよい学級生活や学校生活を送ろうとする力を育てていきたい。

(3) 研究主題に関わって

視点1 かかわる について

- ・ひだまりフェスティバルの準備を通して、学級の友達との関わりを深めることができるようにする。
- ・友達と話合い、学校みんなが楽しめる活動を考えてフェスティバルの内容を決めることができるようにする。

視点2 つながる について

- ・学校の友達のためにフェスティバルの内容を考え、学級の友達と仲良く準備した経験や、学校の友達に楽しんでもらえる経験を次の行事に生かせるようにする。

3 活動のねらいと評価規準

【活動のねらい】

学校の友達のために、楽しい「ひだまりフェスティバル」の内容を考え実施することができる。

【評価規準】

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見の良さを生かして合意形成を図り、信頼し合って実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 活動の流れ

月 日	○活動の内容・児童の思いや願い	☆指導上の留意点と研究に関わる視点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
9月13日 (水)	◎オリエンテーション ・活動に関わる写真や動画を見ながら、「ひだまりフェスティバル」の見通しをもつ。	☆「ひだまりフェスティバル」の見通しがもてるように、活動内容について写真や動画を用いながら説明する。 →視点1・2	◎「ひだまりフェスティバル」の目的や内容を知り、活動の見通しをもつ。 【知識・技能】(観察)
9月20日	○アンケート	☆アンケートをとり、児童	◎「ひだまりフェスティバ

(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひだまりフェスティバル」で取り組みたい活動について書く。</li> </ul>	<p>の意見を集約する。 →視点2</p>	<p>ル」で取り組みたい内容を考え、アンケートに答えている。 【主体的態度】(アンケート)</p>
9月29日 (金)  本時	<p>○「ひだまりフェスティバル」の計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスティバルの内容を話し合う。</li> <li>・役割分担をする。</li> </ul>	<p>☆話し合い内容が理解しやすいよう、発表内容を板書したり、顔写真を用いたりしながら、誰がどのようなことを話しているのか視覚的に示す。 ☆児童の発表内容が他児にも伝わるよう、状況に応じて、教師が児童の意見を他の児童に伝わる形で言い換える。 →視点1・2</p>	<p>◎友達の考えを聞きながら、自分の意見を伝えている。 【思考・判断・表現】 (観察・振り返りシート)</p>
10月2日 (月) ～ 10月17日 (火)	<p>○「ひだまりフェスティバル」の準備をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬店の準備。</li> <li>・教室の飾り作り。</li> <li>・招待の準備。</li> </ul>	<p>☆写真やイラストを用いながら、役割や活動内容を示す。 ☆児童が自分で活動を進めることができるよう、手順表を準備する。 →視点1・2</p>	<p>◎教師の支援や手順表などを活用し、役割分担にもとづいて、学級の友達と協力しながら準備を進めている。 【主体的態度】(観察・振り返りシート)</p>
10月18日 (水)	<p>○「ひだまりフェスティバル」をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割をやり遂げる。</li> <li>・学校の友達を意識しながら、活動することができる。</li> </ul>	<p>☆写真やイラストを用いながら、役割や活動内容を示す。 ☆児童の実態に応じてイラスト等を用いながら、学校の友達と関わる上で必要な言葉や田戸などを確認する。 →視点2</p>	<p>◎「ひだまりフェスティバル」の目的を意識しながら、友達と協力して活動している。  【主体的態度】(観察・振り返りシート)</p>
10月19日 (木)	<p>○「ひだまりフェスティバル」の振り返りをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や動画を見ながら、当日の活動の様子を振り返</li> </ul>	<p>☆写真や動画をういて当日の内容を想起しやすくする。 ☆次にどのようなことを</p>	<p>◎自分の役割や学校全体としての実践を振り返り、今後の学級活動への見通しをもって取り組</p>

	る。 ・振り返りシートを書く。	したいか、今回の課題を今後どのように活かしていきたいかを中心に考えることができるよう助言する。→視点2	もうとしている。  【主体的態度】 (振り返りシート)
--	--------------------	---	--------------------------------------

## 5 本時のねらい

「ひだまりフェスティバル」へ向けて、学校のみんが楽しめるフェスティバルの内容について話し合うことができるようにする。

## 6 個別の実態と評価規準

児童名	児童の実態	個人目標	評価規準
A	○会話の内容や状況を把握することが難しいことがある。 ○相手の気持ちを考えることが苦手で、思い通りにいかないと怒ったり、泣いたりすることがある。	○自分の考えや意見を学級の友達に伝えることができる。 ○友達の考えや意見を聞き、自分が良いと思うものを選ぶことができる。	○友達の発表内容を理解しながら、話合いに参加している。 ○友達の考えや意見を聞き、自分が良いと思うものを選んでいく。
B	○思いを優先し、一方的に話しがちである。 ○友達のために頑張ろうと前向きに取り組む姿が育ってきている。	○友達の考えや意見を最後まで聞き、その内容を受け止めながら、自分の考えを話すことができる。	○友達の考えや意見を受け止めながら、自分の考えを伝えている。
C	○会話の内容や状況を把握することが難しいことがある。 ○友達と関わるのは好きだが、相手の気持ちを想像しながら話すことは難しい。 ○話し合いでは、友達の考えや意見に対して、「ほくもそう思う。」など簡単に話すことができる。	○誰がどのようなことを話しているのか理解しながら、友達の発表を聞くことができる。 ○友達の考えや意見を聞き、その内容を受け止めながら、自分の考えを話すことができる。	○友達の発表内容を理解しながら、話合いに参加している。 ○友達の考えや意見を受け止めながら、自分の考えを伝えている。
D	○教師の話を聞いて行動することができるが、自分の苦手なことやわからないことがある	○友達の発表を聞き、わからないことは教師に確認しながら話合いに参加する	○友達の発表内容を理解しながら、話合いに参加している。

と、落ち着いて話し合いに参加することが難しい。 ○友達の発表を聞き、自分の考えと比べながら全体をまとめようとしている。	ることができる。 ○友達の発表を聞き、自分の考えに理由をつけながら話すことができる。	○友達の考えや意見を受け止めながら、自分の考えを伝えている。
--	---	--------------------------------

## 7 本時の展開

議 題	ひだまりフェスティバルをしよう	
提案理由	学校の友達と今よりも仲良くなるために、みんなが楽しめる「ひだまりフェスティバル」をしようと思う。	
話し合いのめあて	友達の意見を聞き、自分の意見を話すことができる。	
	児童の活動	・教師の支援 ◎評価規準
1 挨拶をする ・全員が姿勢を正し、落ち着いた気持ちで挨拶をする。	2 本時の学習内容を知る ・本時で、何を学習するのか確かめ、見通しをもつ。	・前時までに作成したものを用いながら、誰のために「ひだまりフェスティバル」をするのか想起しやすくする。
<b>「ひだまりフェスティバル」のないようをはなしあおう。</b>		
3 話し合いのめあてを確認する ・友達の話を聞くこと、自分の考えや意見を伝えることについて確認する。	4 話し合いをする フェスティバルで何をするか、内容について話し合う。	・活動の見通しをもたせるため、ホワイトボードに活動内容を掲示する。 ・活動全体の流れをプログラムで提示する。本時の活動内容が分かるように、本時の活動部分をマグネットで示す。 ・事前アンケートや話し合いの内容を板書したり、顔写真を用いたりしながら、誰がどのような意見を話しているのか視覚的に表す。 ・他者の気持ちを理解しやすいように、相手の気持ちを考えたりイラストを活用し視覚的に表したりする。
<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p><b>本時で話し合うこと</b></p> <p>〔はしら1〕フェスティバルで何をするか話しあおう ☆アンケートの結果から、学校の友達も楽しめる活動を4つ決める。 ○予想される考え ・魚釣りがいい。みんなで楽しめるから。 ・的当てがいい。みんなができそうだから。 ・くじ引きは、みんなが楽しめそう。 など ○話し合ったことについて、できそうかどうか確かめる。 ・実際に行うことが難しいものについては、試してみる場面を設ける。 ・実際の活動を通して、ルールや回数などを話し合う。</p> </div>		

〔はしら2〕 役割分担を決めよう

☆誰がどの担当になるのか話し合う。

☆個々の得意なことを手がかりにして決める。

○予想される考え

- ・〇〇さんは、△△が得意だから□□がいいと思う。
- ・ぼく（わたし）は、△△ができるか□□がやりたい。

5 決まったことの確認

- ・話し合いで決まったことを確認する。

6 本時の振り返り

- ・プリントを用いながら本時の話し合いの振り返りをする。
- ・頑張ったことや楽しかったこと、楽しみなことを発表する。

7 先生の話聞く

8 挨拶をする

- ・全員が姿勢を正し、落ち着いた気持ちで挨拶をする。

・話し合いがスムーズに進まない時は、教師が児童の意見を他の児童に伝わる形で言い換える。

・フェスティバルの内容をイメージしやすいように、写真や実物を活用する。

視点1

自分の意見を伝え、友達の意見を聞いているか。

◎友達の考えを聞きながら、自分の意見を伝えている。

視点2

本時の振り返りを通して、学校の友達との関わり方を考え、「ひだまりフェスティバル」への期待を高める。

・児童の発達段階に応じたプリントを準備する。

・活動について振り返りをしやすいように、本時で使った教材を活用する。

・話し合いをする時によかったところを賞賛する。